

石川県の年齢別推計人口 ～平成24年10月1日現在～

平成24年10月1日現在の石川県の年齢別推計人口について取りまとめました。

1. 平成24年10月1日現在推計人口

平成24年10月1日現在推計人口は、1,162,953人(男562,161人、女600,792人)である。

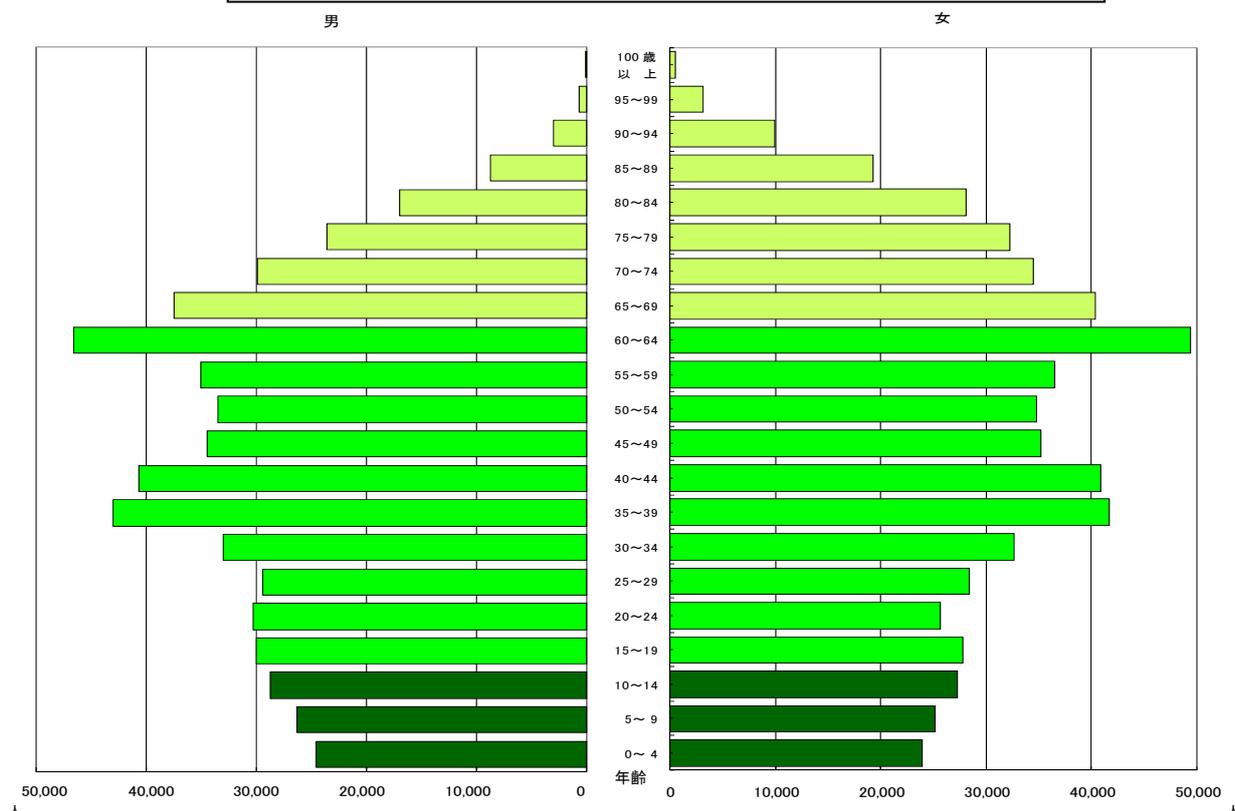
2. 年齢(5歳階級)別人口

○最も多いのは、60～64歳の96,002人

5歳階級別人口では、60～64歳が96,002人と最も多くなっており、男女別でも同様となっている。次いで多かったのは、35～39歳の84,738人、その次が40～44歳の81,559人となっている。

【図1、参考表1】

図1 年齢(5歳階級)・男女別人口(平成24年10月1日現在推計)



※60～64歳、65～69歳には、第1次ベビーブーム(昭和22～24年生まれ)の人口が含まれている。また、35～39歳及び40～44歳には、第2次ベビーブーム(昭和46～49年生まれ)の人口が含まれている。

3. 年齢(3区分)別人口

○ 年少人口及び生産年齢人口の減少、老年人口の増加		
	構成比	前年比
年少人口(0～14歳)	155,866人 (13.5%)	△1,734人 (△0.1ポイント)
生産年齢人口(15～64歳)	709,065人 (61.5%)	△13,743人 (△1.0ポイント)
老年人口(65歳以上)	288,805人 (25.0%)	+12,115人 (+1.1ポイント)

年齢3区分別人口では、年少人口(0～14歳)が155,866人、生産年齢人口(15～64歳)が709,065人、老年人口(65歳以上)が288,805人となっている。割合をみると年少人口は13.5%で過去最低、老年人口は25.0%で過去最高となっている。

前年に比べ、年少人口が1,734人の減少(0.1ポイントの低下)、生産年齢人口が13,743人の減少(1.0ポイントの低下)、老年人口は12,115人の増加(1.1ポイントの上昇)となっている。

また、老年人口のうち65歳から74歳までは142,302人で12.3%、75歳以上は146,503人で12.7%であり、それぞれの老年人口に占める割合は49.3%、50.7%となっている。

【図2-1、図2-2、参考表1】

図2-1 年齢3区分別人口・割合(平成23・24年)

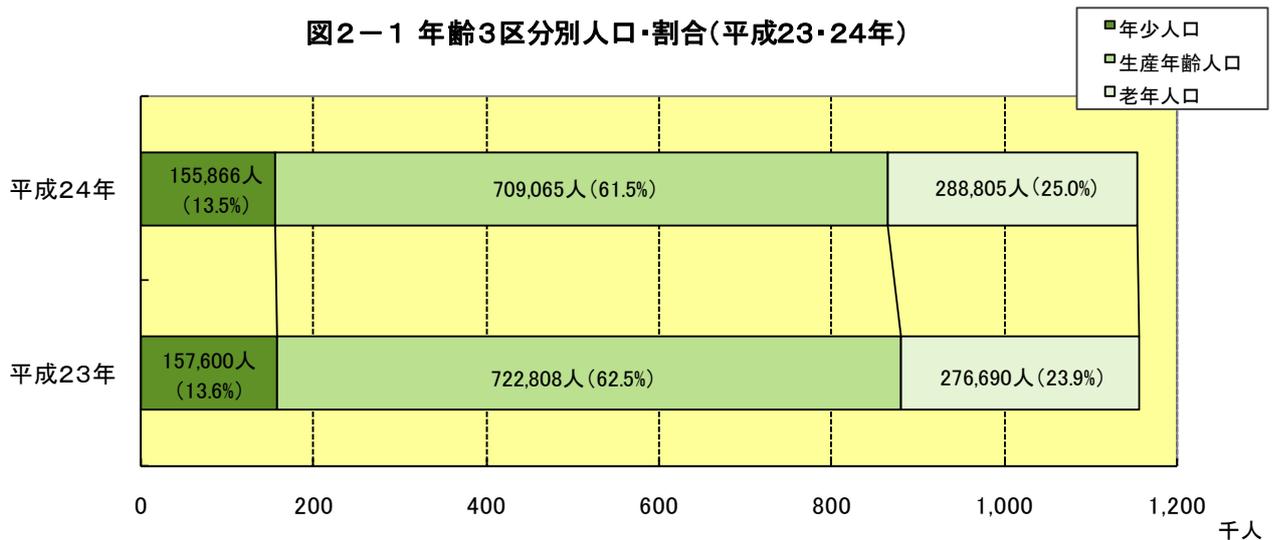
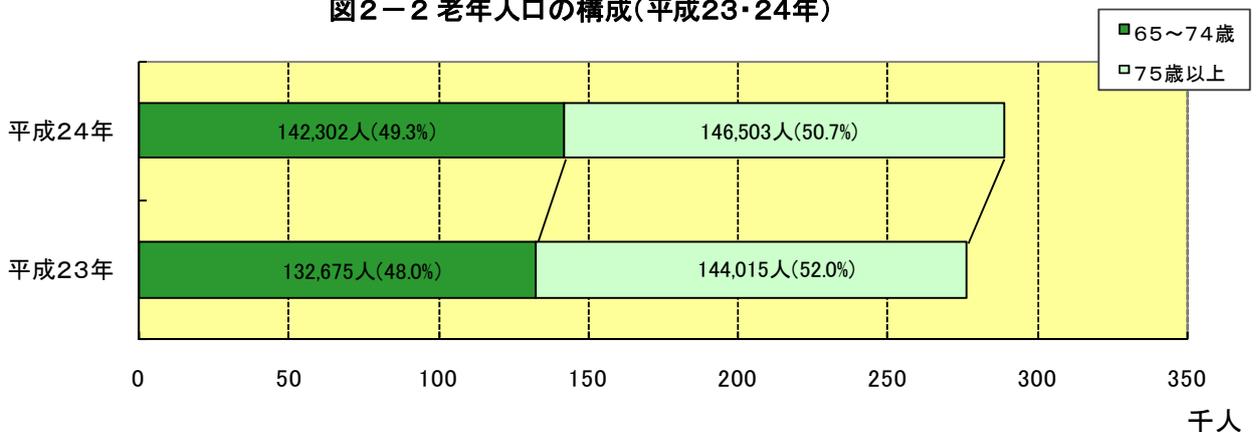


図2-2 老年人口の構成(平成23・24年)



市町別に割合をみると、年少人口では川北町の20.6%、生産年齢人口では野々市市の68.7%、老年人口では珠洲市の43.0%が最も高くなっている。【表1-1、参考表2】

表1-1 年少人口・生産年齢人口・老年人口割合の順位（平成24年10月1日現在）

区分 順位	年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)		
	市町名	割合(%)	市町名	割合(%)	市町名	割合(%)	
上 位	1	川北町	20.6	野々市市	68.7	珠洲市	43.0
	2	能美市	16.2	津幡町	64.9	能登町	42.0
	3	津幡町	15.8	内灘町	64.2	穴水町	41.6
	4	白山市	15.1	金沢市	64.1	輪島市	39.8
	5	野々市市	14.9	白山市	62.8	志賀町	36.1
下 位	15	志賀町	10.7	志賀町	53.2	能美市	22.0
	16	輪島市	9.2	輪島市	51.0	内灘町	21.2
	17	珠洲市	8.9	穴水町	49.9	津幡町	19.3
	18	能登町	8.7	能登町	49.3	川北町	18.6
	19	穴水町	8.4	珠洲市	48.1	野々市市	16.4

対前年増減率をみると、石川県全体では年少人口(0~14歳)が1.1%、生産年齢人口(15~64歳)が1.9%低下し、老年人口(65歳以上)は4.4%上昇している。

市町別にみると、年少人口、生産年齢人口、老年人口の全ての区分で、野々市市の増加率が最も高くなっている。【表1-2】

表1-2 年少人口・生産年齢人口・老年人口対前年増減率の順位(平成24年10月1日現在)

区分 順位	年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)		
	市町名	増減率(%)	市町名	増減率(%)	市町名	増減率(%)	
上 位	1	野々市市	2.8	野々市市	1.1	野々市市	7.2
	2	川北町	0.9	川北町	0.0	内灘町	6.0
	3	中能登町	△0.4	津幡町	△1.0	能美市	5.5
	4	金沢市	△0.5	能美市	△1.0	白山市	5.3
	5	白山市	△0.9	金沢市	△1.4	金沢市	5.2
下 位	15	羽咋市	△3.6	志賀町	△4.3	中能登町	2.9
	16	輪島市	△4.0	輪島市	△4.4	能登町	1.6
	17	宝達志水町	△4.3	珠洲市	△5.3	穴水町	1.6
	18	能登町	△5.0	能登町	△5.5	珠洲市	1.1
	19	穴水町	△5.1	穴水町	△6.0	輪島市	1.0

※増減率 = $\frac{\text{平成24年各年齢区分別人口} - \text{平成23年各年齢区分別人口}}{\text{平成23年各年齢区分別人口}} \times 100$

4. 10年間(平成14年～24年)の変化

○ 続く少子高齢化、減少する生産年齢人口

年少人口割合は、川北町以外の全ての市町で低下し、生産年齢人口割合については、全ての市町で低下している。

年少人口割合は、この10年間で平成14年の14.6%から平成24年の13.5%へと1.1ポイント低下している。市町別でみると、最も低下幅が大きいのは津幡町の3.3ポイントとなっている。

生産年齢人口割合も、65.7%から61.5%へと4.2ポイント低下している。最も低下幅が大きいのは、羽咋市の5.7ポイントとなっている。

老年人口割合は、この10年間で平成14年の19.7%から平成24年の25.0%へと5.3ポイント上昇している。

この傾向は川北町以外の全ての市町においてみられるもので、中でも上昇幅が最も大きいのは、能登町の8.8ポイントとなっている。【表2、図3～6】

表2 年齢3区分の人口割合の推移(平成14年・24年)

市町名	年少人口			生産年齢人口			老年人口		
	平成14年 (%)	平成24年 (%)	割合の 増減 (ポイント)	平成14年 (%)	平成24年 (%)	割合の 増減 (ポイント)	平成14年 (%)	平成24年 (%)	割合の 増減 (ポイント)
石川県	14.6	13.5	△ 1.1	65.7	61.5	△ 4.2	19.7	25.0	5.3
金沢市	14.3	13.5	△ 0.8	68.6	64.1	△ 4.5	17.0	22.4	5.4
七尾市	13.9	11.6	△ 2.3	61.1	57.1	△ 4.0	25.1	31.4	6.3
小松市	15.7	14.6	△ 1.1	65.2	60.4	△ 4.8	19.1	25.0	5.9
輪島市	11.5	9.2	△ 2.3	54.5	51.0	△ 3.5	34.0	39.8	5.8
珠洲市	11.3	8.9	△ 2.4	53.5	48.1	△ 5.4	35.2	43.0	7.8
加賀市	13.9	12.2	△ 1.7	63.6	58.3	△ 5.3	22.5	29.5	7.0
羽咋市	13.1	11.2	△ 1.9	61.7	56.0	△ 5.7	25.3	32.8	7.5
かほく市	15.7	14.3	△ 1.4	64.3	59.8	△ 4.5	19.9	25.8	5.9
白山市	15.8	15.1	△ 0.7	67.4	62.8	△ 4.6	16.8	22.1	5.3
能美市	16.7	16.2	△ 0.5	65.9	61.8	△ 4.1	17.4	22.0	4.6
野々市市	15.1	14.9	△ 0.2	72.9	68.7	△ 4.2	12.0	16.4	4.4
川北町	17.8	20.6	2.8	63.4	60.8	△ 2.6	18.8	18.6	△ 0.2
津幡町	19.1	15.8	△ 3.3	65.6	64.9	△ 0.7	15.3	19.3	4.0
内灘町	16.9	14.6	△ 2.3	69.4	64.2	△ 5.2	13.7	21.2	7.5
志賀町	12.4	10.7	△ 1.7	58.6	53.2	△ 5.4	29.0	36.1	7.1
宝達志水町	14.4	12.0	△ 2.4	61.3	56.7	△ 4.6	24.3	31.3	7.0
中能登町	13.8	13.2	△ 0.6	60.4	55.7	△ 4.7	25.8	31.1	5.3
穴水町	10.6	8.4	△ 2.2	55.5	49.9	△ 5.6	33.9	41.6	7.7
能登町	11.9	8.7	△ 3.2	54.9	49.3	△ 5.6	33.2	42.0	8.8

(注)各年10月1日現在

平成14年については、同年調査時の41市町村を上記19市町に組み替えて積算した。

図3 市町別年少人口割合(平成14年・24年)

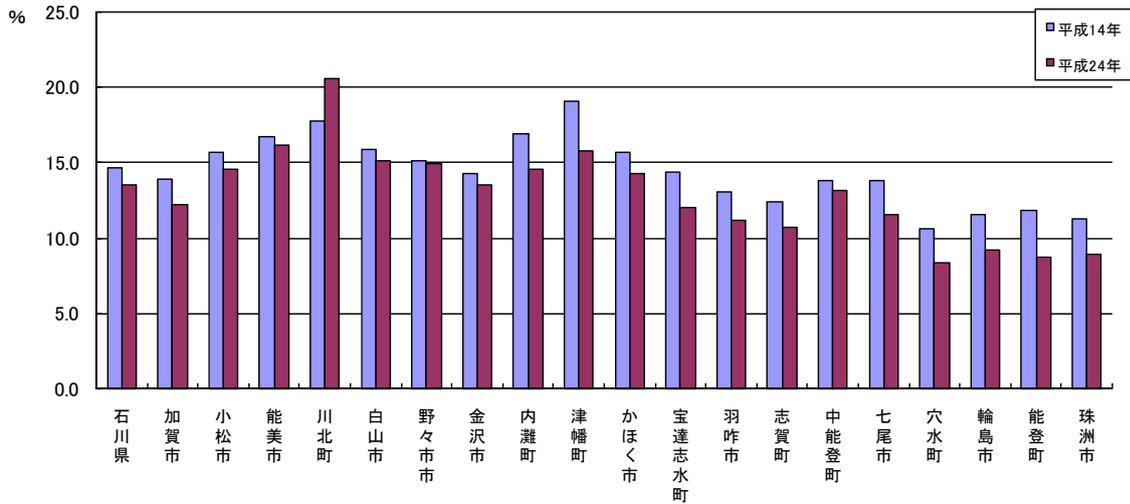


図4 市町別生産年齢人口割合(平成14年・24年)

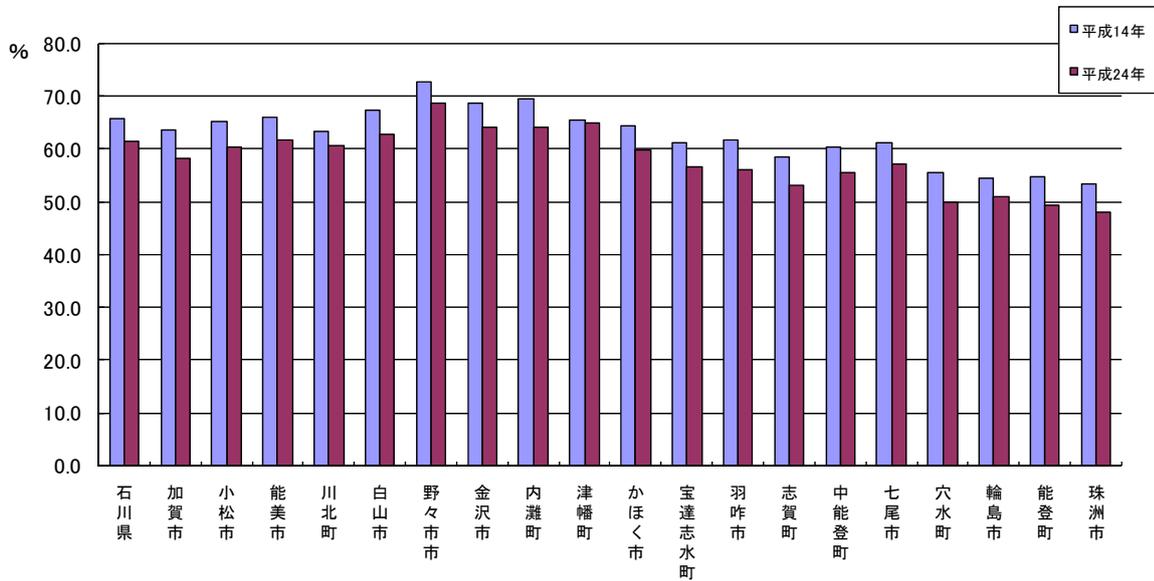


図5 市町別老年人口割合(平成14年・24年)

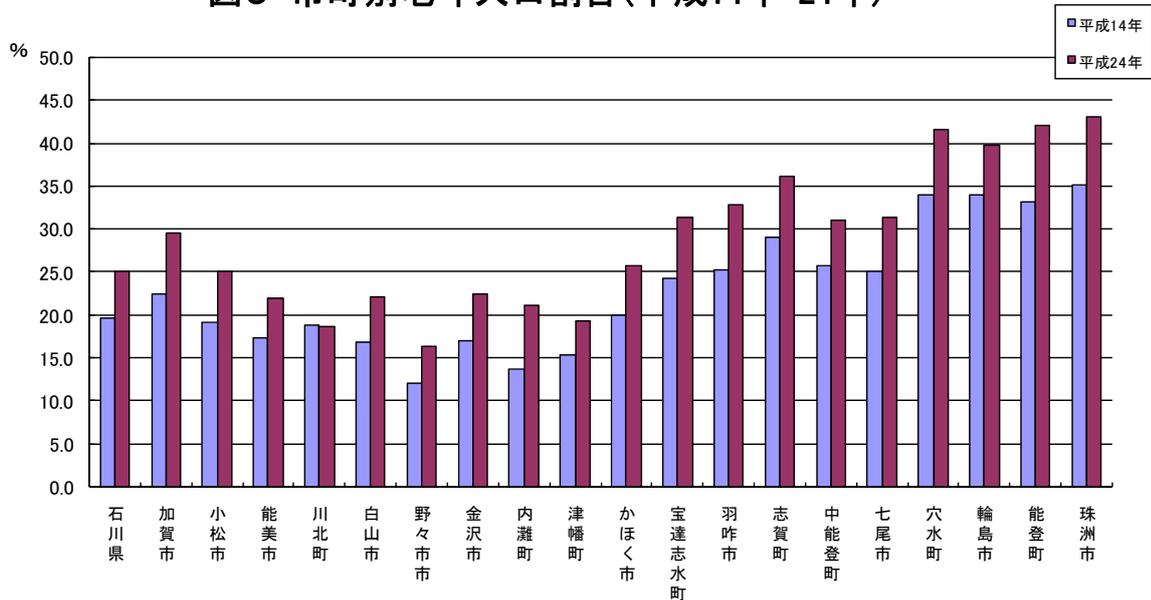
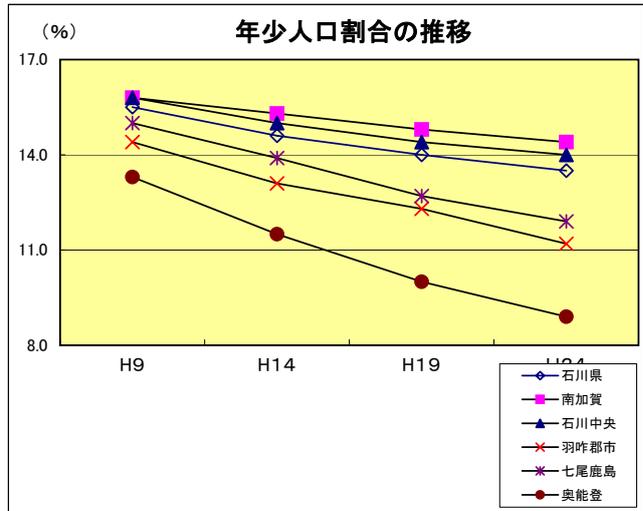


図6 年齢(3区分)別人口割合の推移(平成9年～24年)

・年少人口割合の推移

(単位:%)

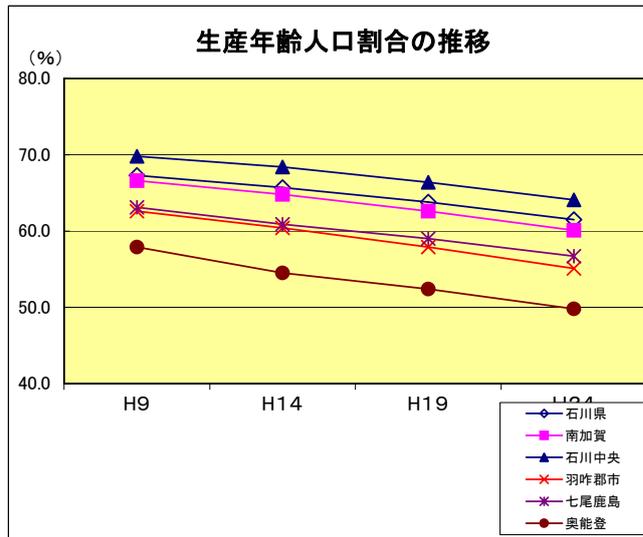
	H9	H14	H19	H24
石川県	15.5	14.6	14.0	13.5
南加賀	15.8	15.3	14.8	14.4
石川中央	15.8	15.0	14.4	14.0
羽咋郡市	14.4	13.1	12.3	11.2
七尾鹿島	15.0	13.9	12.7	11.9
奥能登	13.3	11.5	10.0	8.9



・生産年齢人口割合の推移

(単位:%)

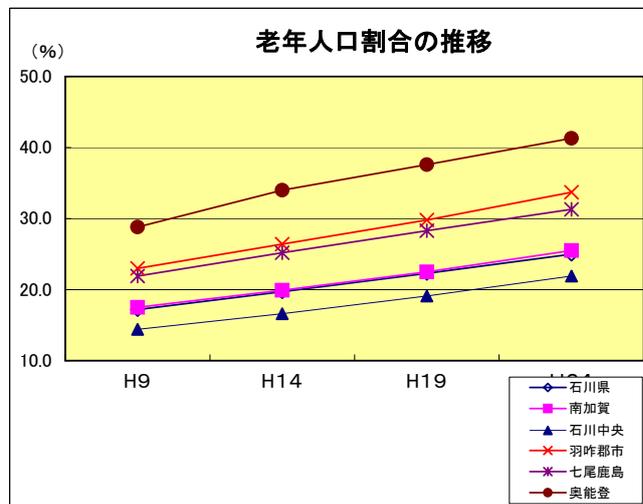
	H9	H14	H19	H24
石川県	67.3	65.7	63.8	61.5
南加賀	66.6	64.8	62.6	60.1
石川中央	69.8	68.4	66.4	64.1
羽咋郡市	62.6	60.4	57.9	55.1
七尾鹿島	63.1	60.9	59.0	56.7
奥能登	57.9	54.5	52.4	49.8



・老年人口割合の推移

(単位:%)

	H9	H14	H19	H24
石川県	17.2	19.7	22.3	25.0
南加賀	17.5	19.9	22.5	25.5
石川中央	14.4	16.6	19.1	21.9
羽咋郡市	23.0	26.4	29.8	33.7
七尾鹿島	21.9	25.2	28.3	31.3
奥能登	28.8	34.0	37.6	41.3



※区分

- 南加賀：小松市、加賀市、能美市、能美郡
- 石川中央：金沢市、かほく市、白山市、野々市市、河北郡
- 羽咋郡市：羽咋市、羽咋郡
- 七尾鹿島：七尾市、鹿島郡
- 奥能登：輪島市、珠洲市、鳳珠郡

5. 人口動態(速報)

○ 自然動態 △2,375人 社会動態 △987人

平成23年10月1日から平成24年9月30日の1年間で、自然動態は出生数9,670人 死亡数12,045人で2,375人の減少だった。社会動態は県外からの転入者数20,872人、県外への転出者数21,859人で987人の減少だった。

【表3～5、参考表4】

表3 年次別、要因別人口動態数の推移

(単位:人)

年次	人口	人口増減数	自然動態			社会動態			国勢調査結果による補間補正数
			自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数	
平成14年	1,180,260	△ 112	1,564	11,180	9,616	△ 1,524	22,227	23,751	△ 152
15	1,178,709	△ 1,551	986	10,954	9,968	△ 2,383	21,649	24,032	△ 154
16	1,176,522	△ 2,187	614	10,587	9,973	△ 2,649	23,160	25,809	△ 152
17	1,174,026	△ 2,496	△ 25	10,330	10,355	△ 2,318	22,882	25,200	△ 153
18	1,172,859	△ 1,167	△ 264	10,194	10,458	△ 1,971	23,019	24,990	1,068
19	1,172,550	△ 309	△ 237	10,278	10,515	△ 1,140	22,866	24,006	1,068
20	1,172,371	△ 179	△ 461	10,473	10,934	△ 786	22,466	23,252	1,068
21	1,170,928	△ 1,443	△ 1,316	10,006	11,322	△ 1,195	22,020	23,215	1,068
22	1,169,788	△ 1,140	△ 1,748	9,724	11,472	△ 461	21,329	21,790	1,069
23	1,166,315	△ 3,473	△ 2,430	9,507	11,937	△ 1,043	20,890	21,933	-
24	1,162,953	△ 3,362	△ 2,375	9,670	12,045	△ 987	20,872	21,859	-

(注) 各年分の人口増減数は前年10月から当年9月までの自然動態、社会動態及び国勢調査結果による補間補正数の計である。平成17年、22年の人口は国勢調査、その他は推計人口(平成14年～16年、平成18年～21年は国勢調査結果による補間補正值)である。

表4 過去1年間の自然動態の順位(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数(人)		増加率(%)		減少数(人)		減少率(%)	
1	野々市市	351	野々市市	0.66	輪島市	457	輪島市	1.56
2	金沢市	125	川北町	0.42	七尾市	428	能登町	1.50
3	川北町	26	内灘町	0.06	加賀市	418	穴水町	1.47
4	内灘町	16	金沢市	0.03	能登町	286	珠洲市	1.47
5	能美市	△ 8	能美市	△ 0.02	志賀町	254	志賀町	1.16

(注) 平成23年10月から24年9月までの1年間の計である。

表5 過去1年間の社会動態の順位(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数(人)		増加率(%)		減少数(人)		減少率(%)	
1	野々市市	854	野々市市	1.61	加賀市	536	穴水町	1.46
2	金沢市	450	川北町	0.48	小松市	415	能登町	1.09
3	能美市	188	能美市	0.39	七尾市	241	珠洲市	1.03
4	川北町	30	金沢市	0.10	輪島市	213	宝達志水町	0.94
5	内灘町	5	内灘町	0.02	能登町	208	加賀市	0.76

(注) 平成23年10月から24年9月までの1年間の計である。